

SAGA KYOEI BANK

2025年度
「お客さま本位の業務運営方針」に対する
取組状況の報告

目次

1. お客様の多様なニーズにお応えする商品・サービスの提供

- ①当行の考えるお客様の最善の利益の追求
- ②商品のラインアップの充実、整備
- ③利益相反にかかる管理
- ④金融商品仲介業務に関する取込状況

【共通KPI】

- ①投資信託の運用損益別お客様比率
- ②投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リスク・リターンの推移
- ③投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン
- ④外貨建保険の運用評価別お客様比率
- ⑤外貨建保険預かり残高20銘柄のコスト・リターン

2. お客様にとって分かりやすい情報の提供

- ①手数料等の明示
- ②お客様向けツール等
- ③重要情報シートの活用
- ④高齢者のお客様に対する募集

3. お客様本位のコンサルティングの実践

- ①アフターフォローの実施状況

4. お客様本位の営業活動に向けた態勢整備

- ①FP資格保有者数、一種外務員資格保有者数
- ②お客様の最善の利益に適った商品提供への取り組み



1. お客様の多様なニーズにお応えする商品・サービスの提供

① 当行の考えるお客様の最善の利益の追求

- 当行では、お客様本位の業務運営として、お客様利益の実現を最優先に考え、お客様ニーズに合致する、お客様にふさわしい商品・サービスの提供に努めます。
- 高齢者の割合が高い佐賀県では、相続や年金などライフプランに関するご相談が多く寄せられています。
この地域特性を踏まえ、私たちはお客様のライフステージに寄り添い、専門性の高いコンサルティングを丁寧に行い、最適な商品・サービスの提供に努めています。

1. お客様の多様なニーズにお応えする商品・サービスの提供

② 商品ラインアップの充実、整備

- お客様のライフプランに寄り添ったコンサルティングを通じて、多様かつ高度化する資産運用ニーズにお応えするため、私たちは変化する社会情勢を踏まえ、商品ラインアップの充実・整備に努めています。
- 投資信託においては2025年3月に商品ラインナップの拡充を目的として、アイザワ証券株式会社と「有価証券の売買の媒介等に関わる業務委託基本契約」を締結し、449銘柄を取り扱っております。

投資信託ラインナップ

種別		銘柄数	構成比
債券	国内債券	7	1.6%
	海外債券	50	11.1%
	内外債券	0	0.0%
株式	国内株式	36	8.0%
	海外株式	105	23.4%
	内外株式	174	38.8%
REIT	国内REIT	11	2.4%
	海外REIT	23	5.1%
	内外REIT	8	1.8%
バランス		35	7.8%
合計		449	100.0%

保険商品ラインナップ

カテゴリー		通貨	商品数	構成比
一時払	定額個人年金	円貨建	1	4.5%
		外貨建	1	4.5%
	定額終身保険	円 建	3	13.7%
		外貨建	4	18.3%
	変額終身保険	円 建	1	4.5%
		外貨建	0	0.0%
平準払	小計		10	45.5%
	定額個人年金	円 建	1	4.5%
	定額終身保険	円 建	2	9.1%
	変額保険	円 建	1	4.5%
	がん保険	円 建	1	4.5%
	学資保険	円 建	2	9.1%
	医療保険	円 建	5	22.8%
	収入保障	円 建	0	0.0%
	小計		12	54.5%
	合計		22	100.0%

1. お客様の多様なニーズにお応えする商品・サービスの提供

③ 利益相反にかかる管理

- 当行は、当行とお客様の間、ならびに、当行のお客様相互間における利益相反のおそれのある取引に関し、法令等に従い、お客様の利益が不当に害されることのないよう適切に業務を遂行致します。当行は、法令等に従い、当行の利益相反管理方針の概要をここに公表いたします。

利益相反管理方針

1. 利益相反管理の対象となる取引(対象取引)と特定方法

「利益相反」とは、当行とお客様の間、ならびに、当行のお客様相互間において利益が相反する状況をいいます。利益相反は、金融取引においては日常的に生じるものですが、当行では、利益相反管理の対象となる利益相反のおそれのある取引(以下「対象取引」といいます)として、以下の(1)(2)(3)に該当するものを管理いたします。

- (1) 当行が契約等に基づく関係を有する顧客と行う取引
- (2) 当行が契約等に基づく関係を有する顧客と対立または競合する相手と行う取引
- (3) 当行が契約等に基づく関係を有する顧客から得た情報を不当に利用して行う取引

当行では、お客様との取引が対象取引に該当するか否かにつき、営業部門から独立した利益相反管理部署が、適切な特定を行います。

1. お客様の多様なニーズにお応えする商品・サービスの提供

2. 類型

対象取引は、個別の具体的な事情に応じて対象取引に該当するか否かが決まるものですが、例えば、以下のような取引については、対象取引に該当する可能性があります。

	お客さまと当行	お客さまと当行の 他のお客さま
利害対立型	お客さまと当行の利害が対立する取引	お客さまと当行の他のお客さまとの利害が対立する取引
競合取引型	お客さまと当行が同一の対象に対して競合する取引	お客さまと当行の他のお客さまとが競合する取引
情報利用型	当行がお客さまとの関係を通じて入手した情報を利用して当行が利益を得る取引	当行がお客さまとの関係を通じて入手した情報を利用して当行の他のお客さまが利益を得る取引

1. お客様の多様なニーズにお応えする商品・サービスの提供

3. 利益相反管理体制および管理方法

当行は、適正な利益相反管理の遂行のため、利益相反管理部署を設置し、対象取引の特定および管理を一元的に行います。対象取引の管理方法として、次に掲げる方法等を選択し、または組み合わせることにより、適切に利益相反管理を行います。

- (1)利益相反を発生させる可能性のある部門を分離することにより管理する方法
- (2)利益相反のおそれがある取引の一方もしくは双方の条件又は方法を変更する方法
- (3)利益相反のおそれがある取引を中止する方法
- (4)利益相反のおそれがあることを取引顧客へ開示することにより管理する方法
- (5)情報を共有する者を監視する方法により管理する方法

また、これらの管理を適切に行うため、研修・教育を実施し、社内において周知・徹底いたします。

4. 利益相反管理の対象となる会社の範囲

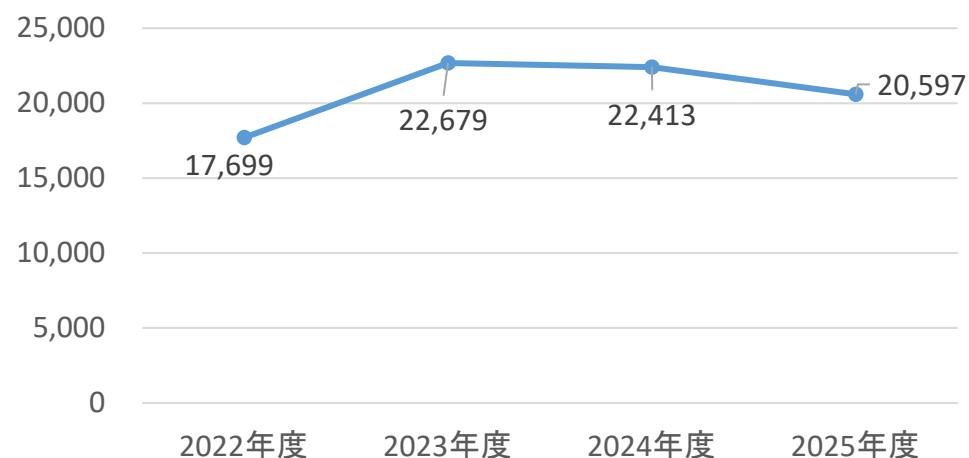
当行は、連結対象子会社ほか関連会社を有しておりませんので、利益相反管理の対象となる会社は当行(単体)のみです。

1. お客様の多様なニーズにお応えする商品・サービスの提供

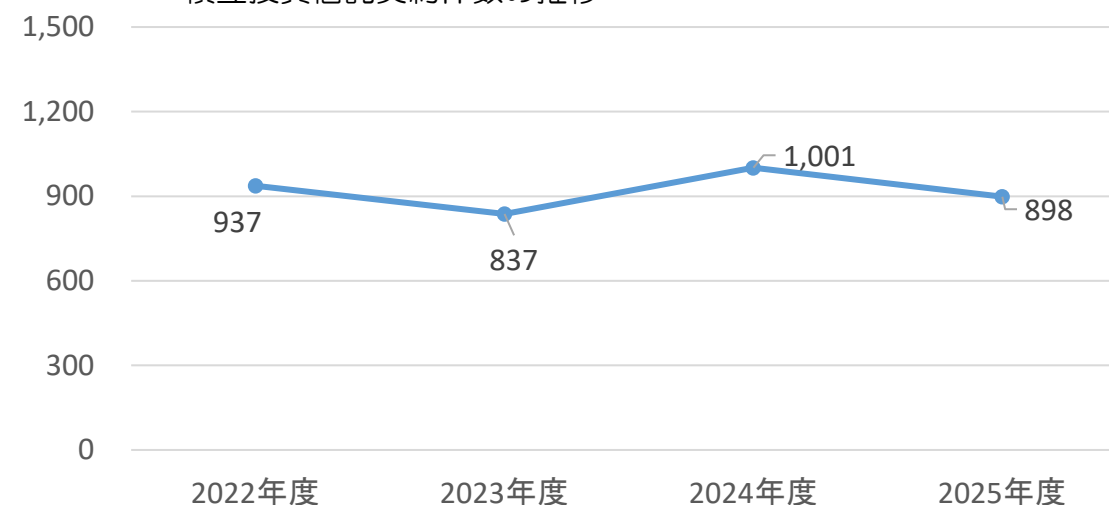
④ 金融商品仲介業務に関する取組状況

- アイザワ証券との包括的業務提携に基づく、金融商品仲介取扱分の実績を掲載しています。
- 2026年3月末現在、金融商品仲介口座は2,736口座、うちNISA口座は1,397口座。預かり資産残高は45億円、NISA預かり残高は9億円となりました。
- 2026年3月末現在の投資信託販売件数および積立投資信託契約件数は、それぞれ微減となっております。

投資信託の販売件数の推移（積立、再投資を含む）



積立投資信託契約件数の推移



1. お客様の多様なニーズにお応えする商品・サービスの提供

「投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI」の内容

2022年6月に金融庁より公表された「投資信託の販売会社における顧客本位の業務運営のモニタリング結果について」を成果指標として、公表します。

①投資信託の運用損益別お客様比率

- 投資信託を保有しているお客様に、基準日時点の運用損益を示した指標です。

②投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リスク・リターン推移

- 2026年3月末現在、投資信託の預り残高上位20銘柄のコスト・リスク・リターンの推移です。

③投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン

- 設定後5年以上の投資信託の預り残高上位20銘柄について、銘柄毎および預かり残高加重平均のコストとリターンの関係を示した指標です。

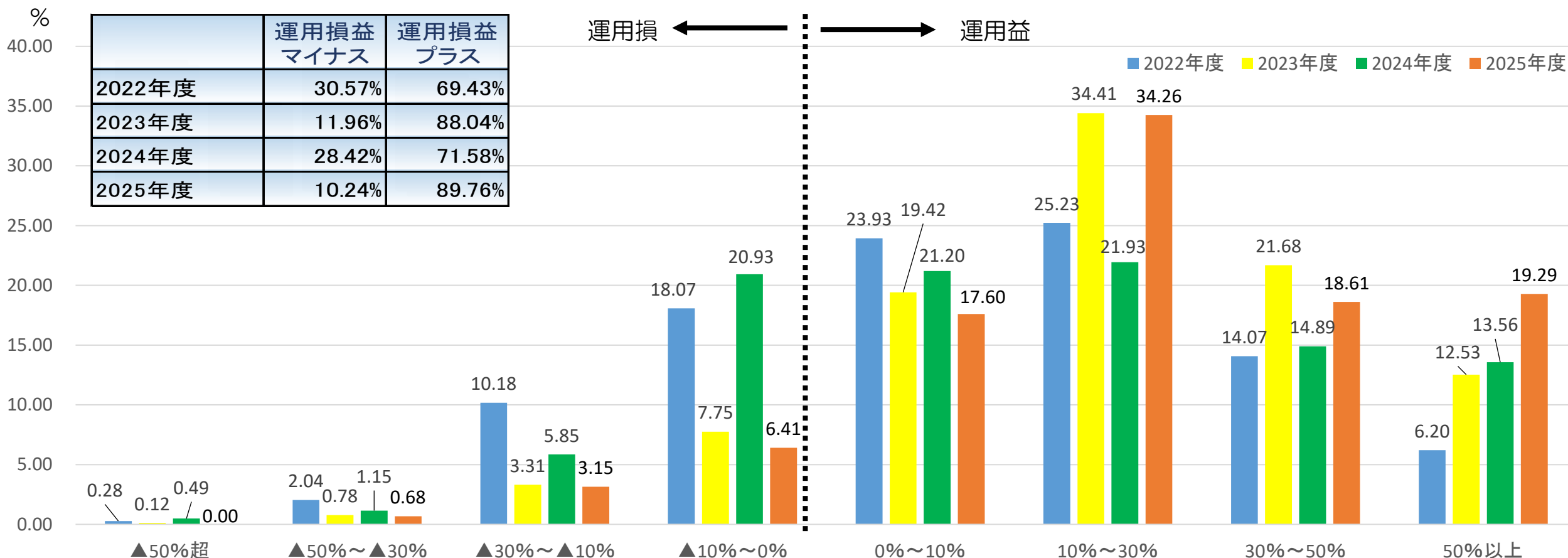
④投資信託預り残高上位20銘柄のリスク・リターン

- 設定後5年以上の投資信託の預り残高上位20銘柄について、銘柄毎および預り残高加重平均のリスクとリターンの関係を示した指標です。

当行における比較可能な共通KPIの状況

投資信託

① 投資信託の運用損益別お客さま比率

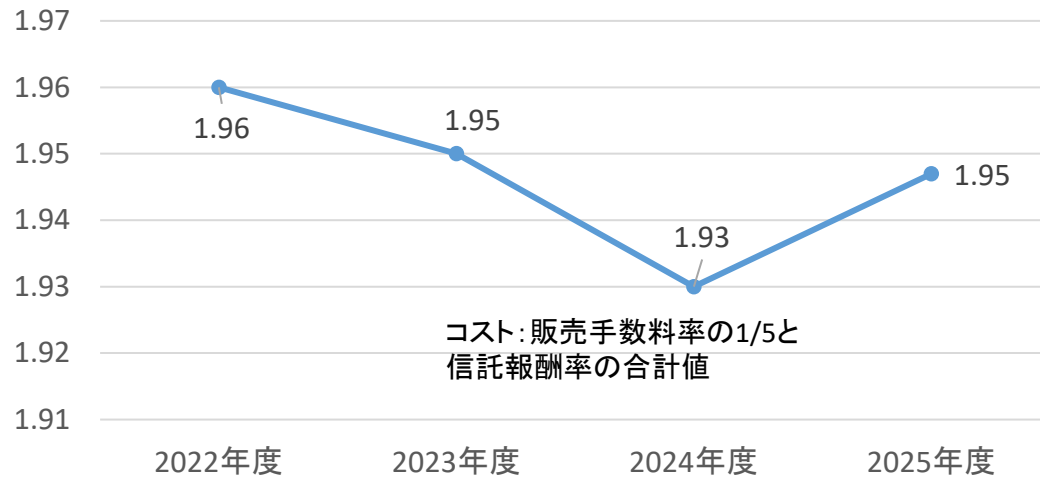


➤ 2026年3月31日時点において、当行で投資信託を保有しているお客さまのうち、89.76%が運用損益プラス、10.24%が運用損益マイナスとなりました。

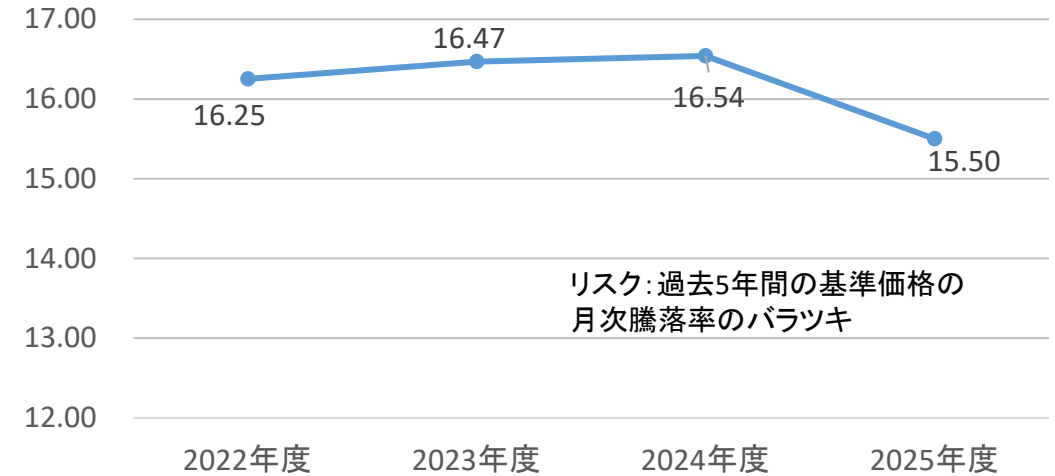
② 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リスク・リターン推移

	平均コスト	平均リスク	平均リターン
2022年度	1.96%	16.25%	+6.34%
2023年度	1.95%	16.47%	+10.50%
2024年度	1.93%	16.54%	+10.70%
2025年度	1.95%	15.50%	+10.76%

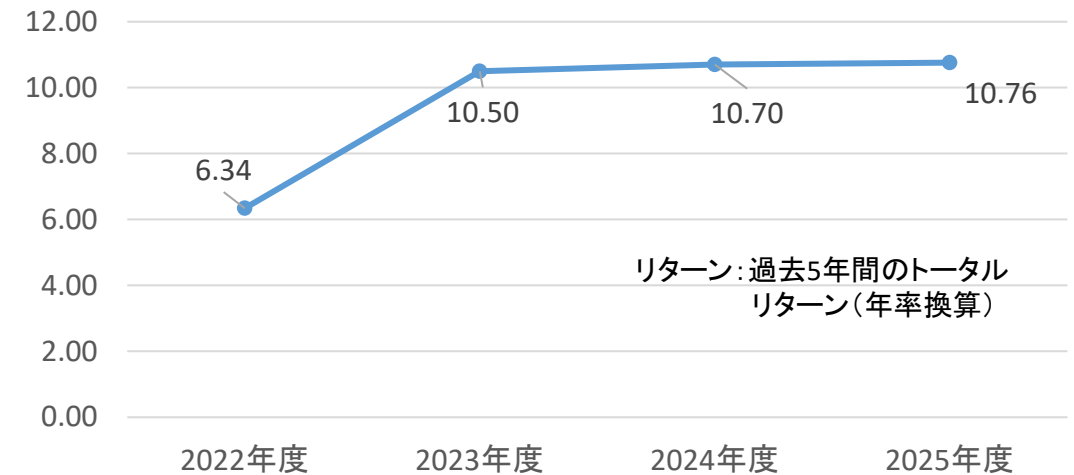
平均コスト



平均リスク

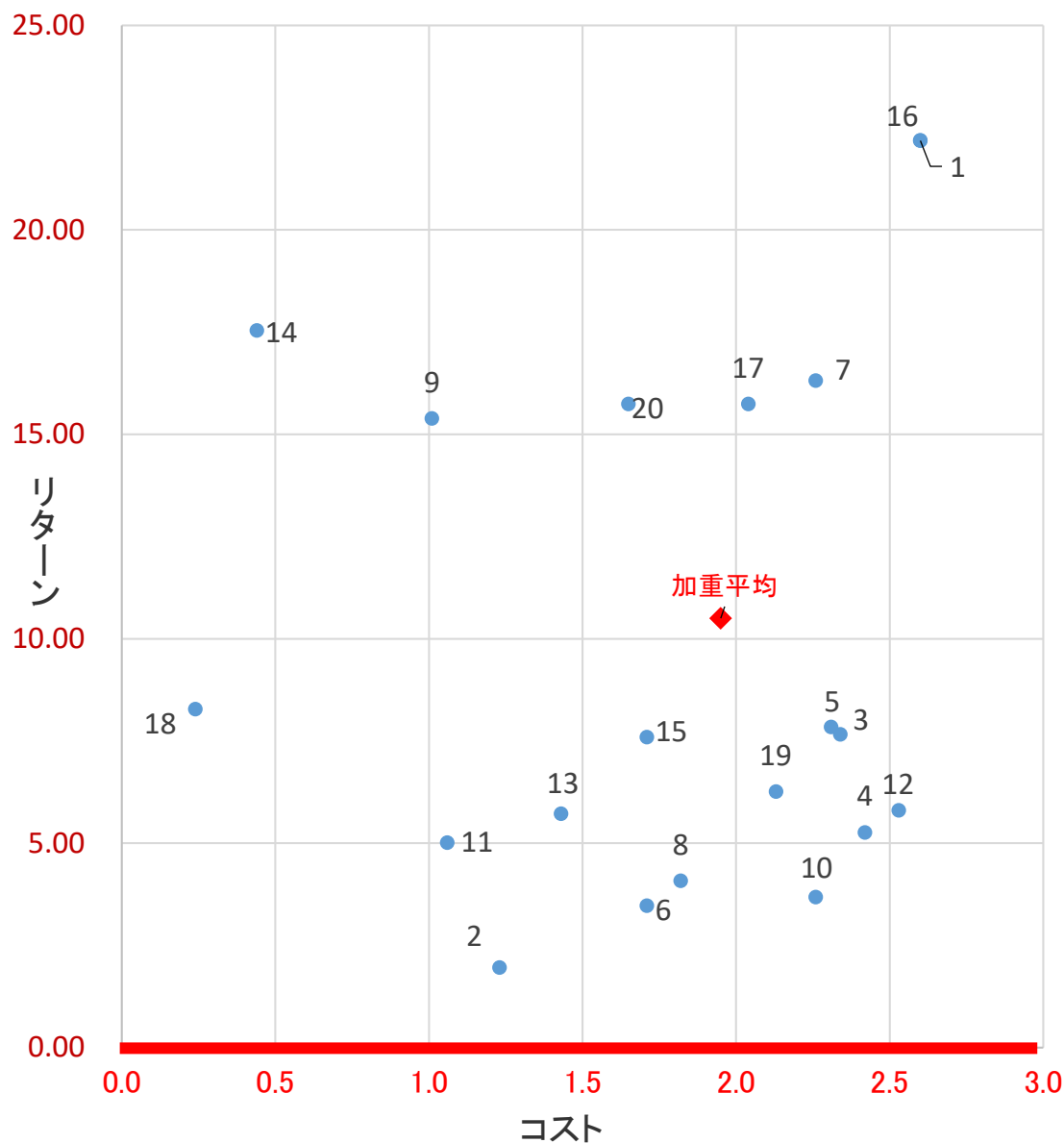


平均リターン



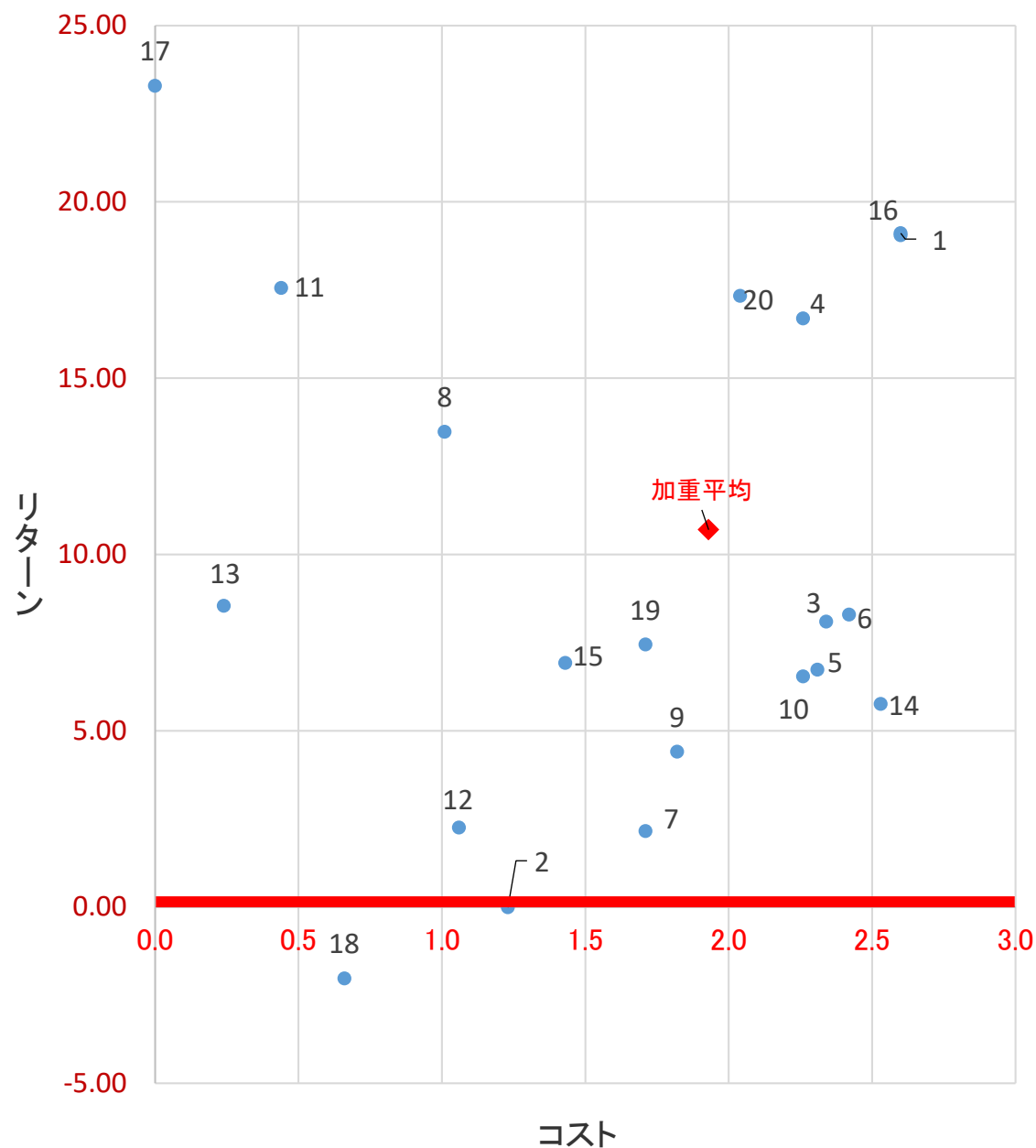
➤ 2025年度における投資信託預り残高上位20銘柄の平均コストが1.95%、平均リスクが15.50%、平均リターンが +10.76%となりました。

③-(1) 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン(2024年3月末)



	銘柄名称	コスト	リターン
1	グローバル・ロボティクス株式ファンド(年2回決算型)(一般)	2.60%	22.18%
2	ダイワJ-REITオープン(毎月分配型)	1.23%	1.96%
3	新光US-REITオープン	2.34%	7.66%
4	アジア・オセアニア好配当成長株オープン(毎月分配型)	2.42%	5.26%
5	国際インド債券オープン(毎月決算型)(一般)	2.31%	7.84%
6	グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)	1.71%	3.47%
7	米国連続増配成長株オープン(一般)	2.26%	16.31%
8	ハイグレード・オセアニア・ボンド・オープン(毎月分配型)	1.82%	4.08%
9	ストック インデックス ファンド225累投	1.01%	15.39%
10	ワールド・リート・オープン(毎月決算型)	2.26%	3.68%
11	グローバル3倍3分法ファンド(隔月分配型)(一般)	1.06%	5.01%
12	MHAM新興成長株オープン(一般)	2.53%	5.80%
13	短期豪ドル債オープン(毎月分配型)(一般)	1.43%	5.72%
14	米国株式配当貴族(年4回決算型)(一般)	0.44%	17.54%
15	世界の財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)毎月分配型	1.71%	7.59%
16	グローバル・ロボティクス株式ファンド(年1回決算型)(一般)	2.60%	22.19%
17	ダイワ好配当日本株投信(季時点描)	2.04%	15.74%
18	(積立)i Free 8資産バランス	0.24%	8.28%
19	ブラジル・ボンド・オープン(毎月決算型)	2.13%	6.26%
20	グローバル・ハイインカム・ストック・ファンド	1.65%	15.74%

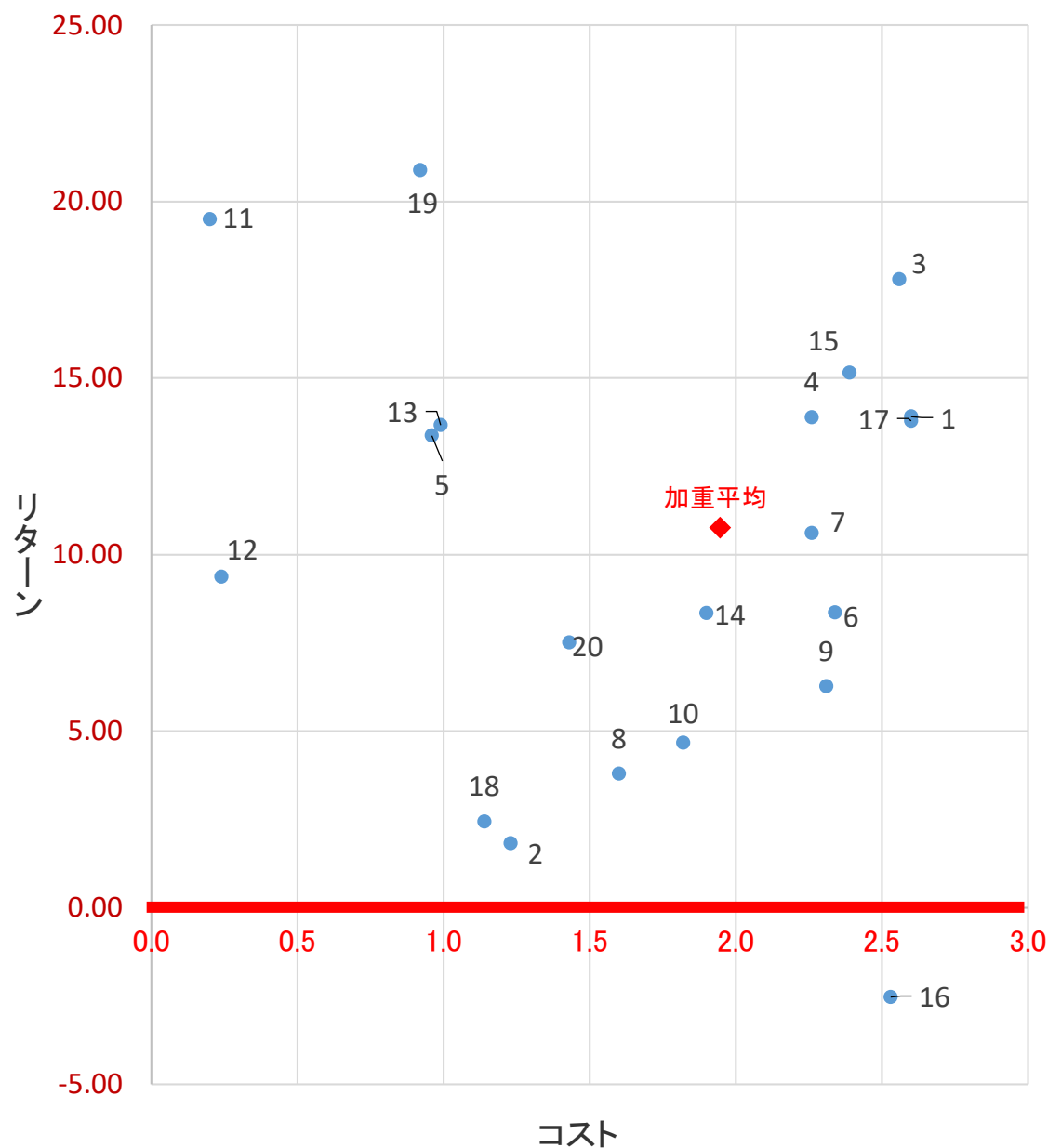
③-(2) 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン(2025年2月末)2025年3月アイザワ証券移管



	銘柄名称	コスト	リターン
1	グローバル・ロボティクス株式ファンド(年2回決算型)(一般)	2.60%	19.11%
2	ダイワJ-REITオープン(毎月分配型)	1.23%	-0.01%
3	新光US-REITオープン	2.34%	8.09%
4	米国連続増配成長株オープン(一般)	2.26%	16.69%
5	国際インド債券オープン(毎月決算型)(一般)	2.31%	6.73%
6	アジア・オセアニア好配当成長株オープン(毎月分配型)	2.42%	8.29%
7	グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)	1.71%	2.15%
8	ストック インデックス ファンド225累投	1.01%	13.48%
9	ハイグレード・オセアニア・債券・オープン(毎月分配型)	1.82%	4.40%
10	ワールド・リート・オープン(毎月決算型)	2.26%	6.54%
11	米国株式配当貴族(年4回決算型)(一般)	0.44%	17.56%
12	グローバル3倍3分法ファンド(隔月分配型)(一般)	1.06%	2.25%
13	(積立)i Free 8資産バランス	0.24%	8.54%
14	MHAM新興成長株オープン(一般)	2.53%	5.76%
15	短期豪ドル債オープン(毎月分配型)(一般)	1.43%	6.92%
16	グローバル・ロボティクス株式ファンド(年1回決算型)(一般)	2.60%	19.05%
17	(積立)iFree S&P500インデックス	0.00%	23.29%
18	グローバル5. 5倍バランスファンド(1年決算型)(一般)	0.66%	-2.03%
19	世界の財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)毎月分配型	1.71%	7.44%
20	ダイワ好配当日本株投信(季節点描)	2.04%	17.33%

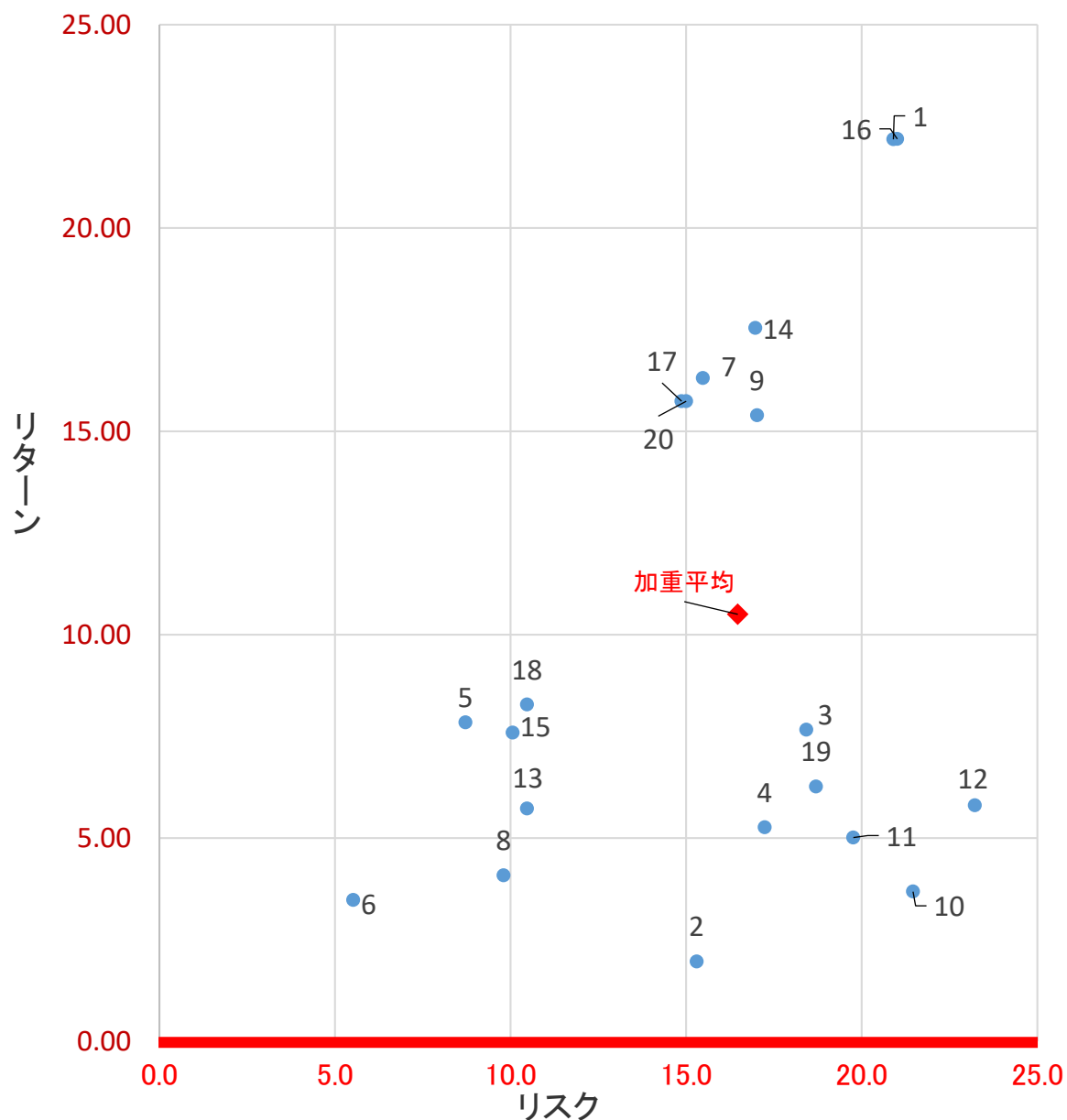
③-(3) 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン(2026年3月末)

※AIが証券と提携後、新たに取扱いが可能となった銘柄(No.3,15)



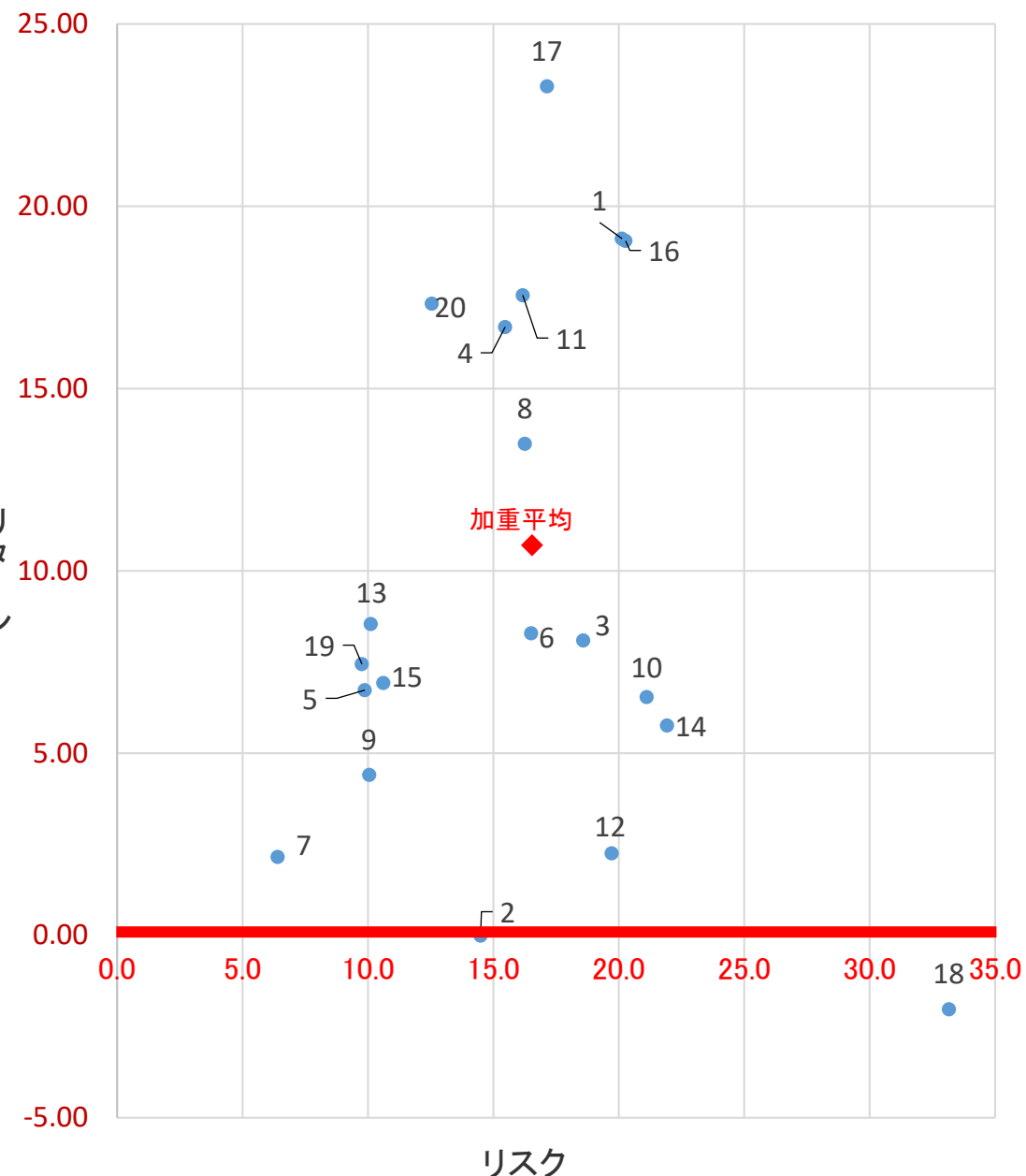
	銘柄名称	コスト	リターン
1	グローバル・ロボティクス株式ファンド(年2回決算型)(一般)	2.60%	13.91%
2	ダイワJ-REITオープン(毎月分配型)	1.23%	1.82%
3	インベスコ 世界厳選株式オープン<為替Hなし>(毎月決算型)	2.56%	17.80%
4	米国連続増配成長株オープン	2.26%	13.89%
5	ストック インデックス ファンド225累投	0.96%	13.37%
6	新光 US-REIT オープン	2.34%	8.36%
7	アジア・オセアニア好配当株ファンド(毎月決算型)	2.26%	10.61%
8	グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)	1.60%	3.79%
9	国際インド債券オープン(毎月決算型)(一般)	2.31%	6.27%
10	ハイグレード・オセアニア・ボンド・オープン(毎月分配型)	1.82%	4.67%
11	iFree S&P500インデックス	0.20%	19.50%
12	iFree 8資産バランス	0.24%	9.37%
13	米国株式配当貴族(年4回決算型)	0.99%	13.67%
14	ワールド・リート・オープン(毎月決算型)	1.90%	8.34%
15	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信 Dコース	2.39%	15.15%
16	MHAM新興成長株オープン	2.53%	-2.53%
17	グローバル・ロボティクス株式ファンド(年1回決算型)(一般)	2.60%	13.79%
18	グローバル3倍3分法ファンド(隔月分配型)	1.14%	2.44%
19	インデックスファンドNASDAQ100(アメリカ株式)	0.92%	20.89%
20	短期豪ドル債オープン(毎月分配型)	1.43%	7.51%

④-(1) 投資信託預り残高上位20銘柄のリスク・リターン(2024年3月末)



	銘柄名称	リスク	リターン
1	グローバル・ロボティクス株式ファンド(年2回決算型)(一般)	20.90%	22.18%
2	ダイワJ-REITオープン(毎月分配型)	15.30%	1.96%
3	新光US-REITオープン	18.42%	7.66%
4	アジア・オセアニア好配当成長株オープン(毎月分配型)	17.24%	5.26%
5	国際インド債券オープン(毎月決算型)(一般)	8.72%	7.84%
6	グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)	5.52%	3.47%
7	米国連続増配成長株オープン(一般)	15.48%	16.31%
8	ハイグレード・オセアニア・ボンド・オープン(毎月分配型)	9.80%	4.08%
9	ストック インデックス ファンド225累投	17.02%	15.39%
10	ワールド・リート・オープン(毎月決算型)	21.46%	3.68%
11	グローバル3倍3分法ファンド(隔月分配型)(一般)	19.76%	5.01%
12	MHAM新興成長株オープン(一般)	23.22%	5.80%
13	短期豪ドル債オープン(毎月分配型)(一般)	10.47%	5.72%
14	米国株式配当貴族(年4回決算型)(一般)	16.97%	17.54%
15	世界の財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)毎月分配型	10.06%	7.59%
16	グローバル・ロボティクス株式ファンド(年1回決算型)(一般)	21.01%	22.19%
17	ダイワ好配当日本株投信(季節点描)	14.87%	15.74%
18	(積立)i Free 8資産バランス	10.47%	8.28%
19	ブラジル・ボンド・オープン(毎月決算型)	18.70%	6.26%
20	グローバル・ハイインカム・ストック・ファンド	15.00%	15.74%

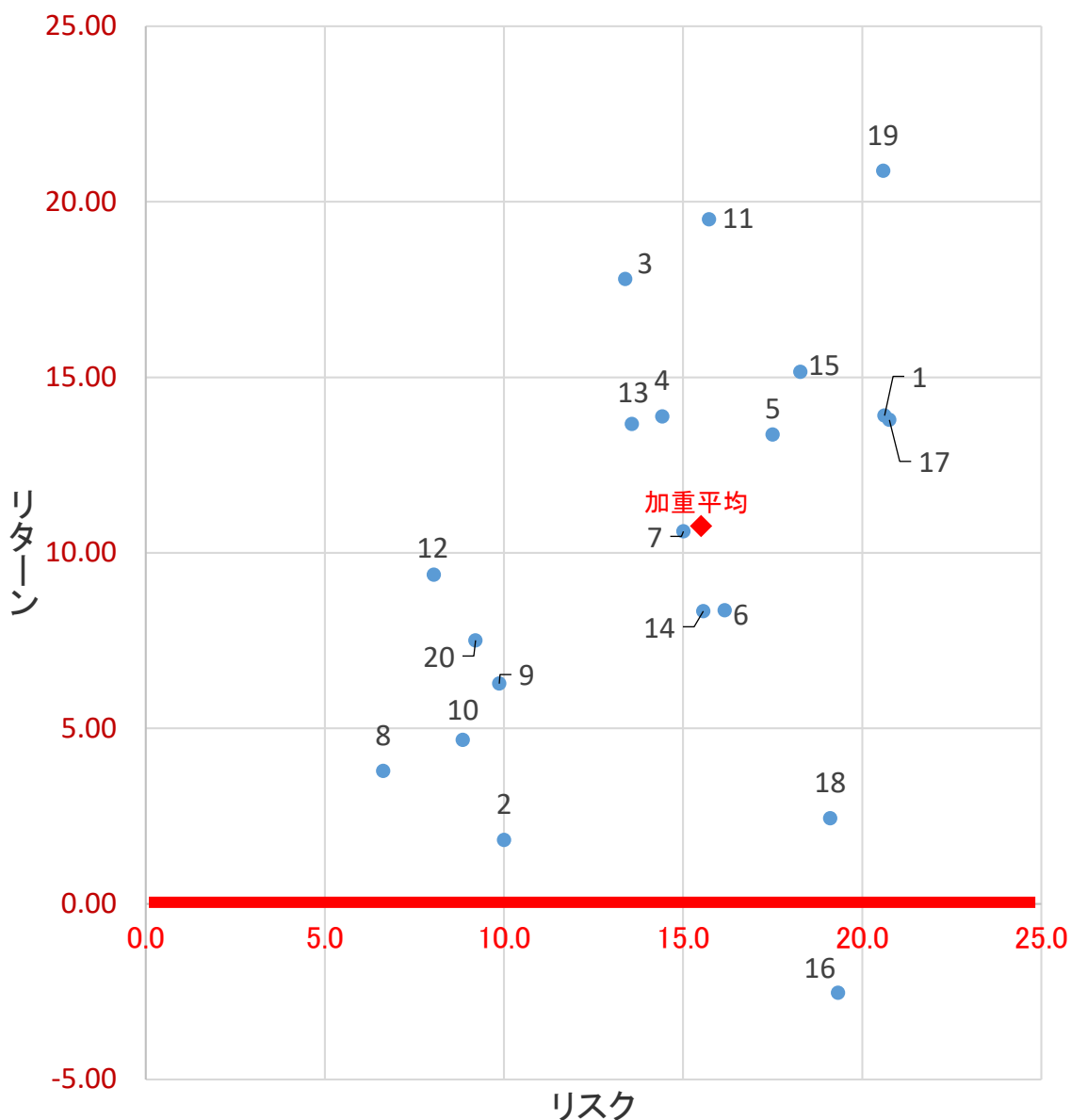
④-(2) 投資信託預り残高上位20銘柄のリスク・リターン(2025年2月末)2025年3月アイザワ証券移管



	銘柄名称	リスク	リターン
1	グローバル・ロボティクス株式ファンド(年2回決算型)(一般)	20.13%	19.11%
2	ダイワJ-REITオープン(毎月分配型)	14.49%	-0.01%
3	新光US-REITオープン	18.58%	8.09%
4	米国連続増配成長株オープン(一般)	15.47%	16.69%
5	国際インド債券オープン(毎月決算型)(一般)	9.88%	6.73%
6	アジア・オセアニア好配当成長株オープン(毎月分配型)	16.51%	8.29%
7	グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)	6.40%	2.15%
8	ストック インデックス ファンド225累投	16.26%	13.48%
9	ハイグレード・オセアニア・ボンド・オープン(毎月分配型)	10.05%	4.40%
10	ワールド・リート・オープン(毎月決算型)	21.12%	6.54%
11	米国株式配当貴族(年4回決算型)(一般)	16.17%	17.56%
12	グローバル3倍3分法ファンド(隔月分配型)(一般)	19.72%	2.25%
13	(積立)i Free 8資産バランス	10.11%	8.54%
14	MHAM新興成長株オープン(一般)	21.93%	5.76%
15	短期豪ドル債オープン(毎月分配型)(一般)	10.62%	6.92%
16	グローバル・ロボティクス株式ファンド(年1回決算型)(一般)	20.27%	19.05%
17	(積立)iFree S&P500インデックス	17.14%	23.29%
18	グローバル5.5倍バランスファンド(1年決算型)(一般)	33.16%	-2.03%
19	世界の財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)毎月分配型	9.76%	7.44%
20	ダイワ好配当日本株投信(季節点描)	12.55%	17.33%

④-(3) 投資信託預り残高上位20銘柄のリスク・リターン(2026年3月末)

※アイザワ証券と提携後、新たに取扱いが可能となった銘柄(No.3,15)



	銘柄名称	リスク	リターン
1	グローバル・ロボティクス株式ファンド(年2回決算型)(一般)	20.62%	13.91%
2	ダイワJ-REITオープン(毎月分配型)	10.01%	1.82%
3	インベスコ 世界厳選株式オープン<為替Hなし>(毎月決算型)	13.38%	17.80%
4	米国連続増配成長株オープン	14.42%	13.89%
5	ストック インデックス ファンド225累投	17.50%	13.37%
6	新光 US-REIT オープン	16.16%	8.36%
7	アジア・オセアニア好配当株ファンド(毎月決算型)	15.01%	10.61%
8	グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)	6.63%	3.79%
9	国際インド債券オープン(毎月決算型)(一般)	9.87%	6.27%
10	ハイグレード・オセアニア・ボンド・オープン(毎月分配型)	8.85%	4.67%
11	iFree S&P500インデックス	15.73%	19.50%
12	iFree 8資産バランス	8.04%	9.37%
13	米国株式配当貴族(年4回決算型)	13.57%	13.67%
14	ワールド・リート・オープン(毎月決算型)	15.56%	8.34%
15	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信 Dコース	18.28%	15.15%
16	MHAM新興成長株オープン	19.32%	-2.53%
17	グローバル・ロボティクス株式ファンド(年1回決算型)(一般)	20.76%	13.79%
18	グローバル3倍3分法ファンド(隔月分配型)	19.11%	2.44%
19	インデックスファンドNASDAQ100(アメリカ株式)	20.59%	20.89%
20	短期豪ドル債オープン(毎月分配型)	9.21%	7.51%

1. お客様の多様なニーズにお応えする商品・サービスの提供

「外貨建保険の販売会社における比較可能な共通KPI」の内容

2022年1月に金融庁より公表された「外貨建保険の販売会社における比較可能な共通KPI」を成果指標として公表します。

⑤ 外貨建保険の運用評価別お客様比率

- 外貨建保険を保有しているお客様に、購入時以降のリターンを算出し、全ての お客様を100%とした場合のリターン別のお客様分布を示した指標です。

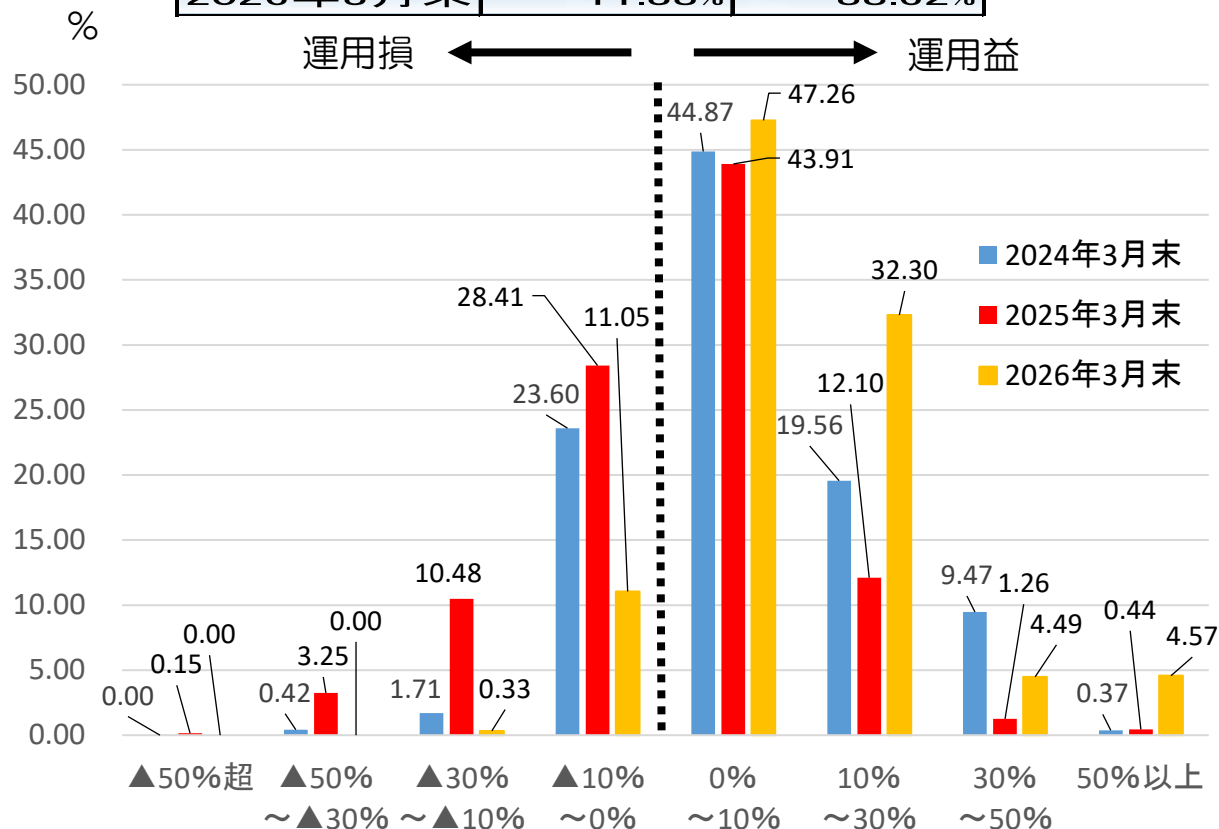
⑥ 外貨建保険預り残高20銘柄のコスト・リターン

- 外貨建保険の各銘柄について、平均コスト(各契約について、保険会社が支払う代理店手数料のうち、新契約手数料率と継続手数料率を年率換算)と平均リターン(各契約の購入時以降のリターンを年次換算)を図表上に示した指標です。

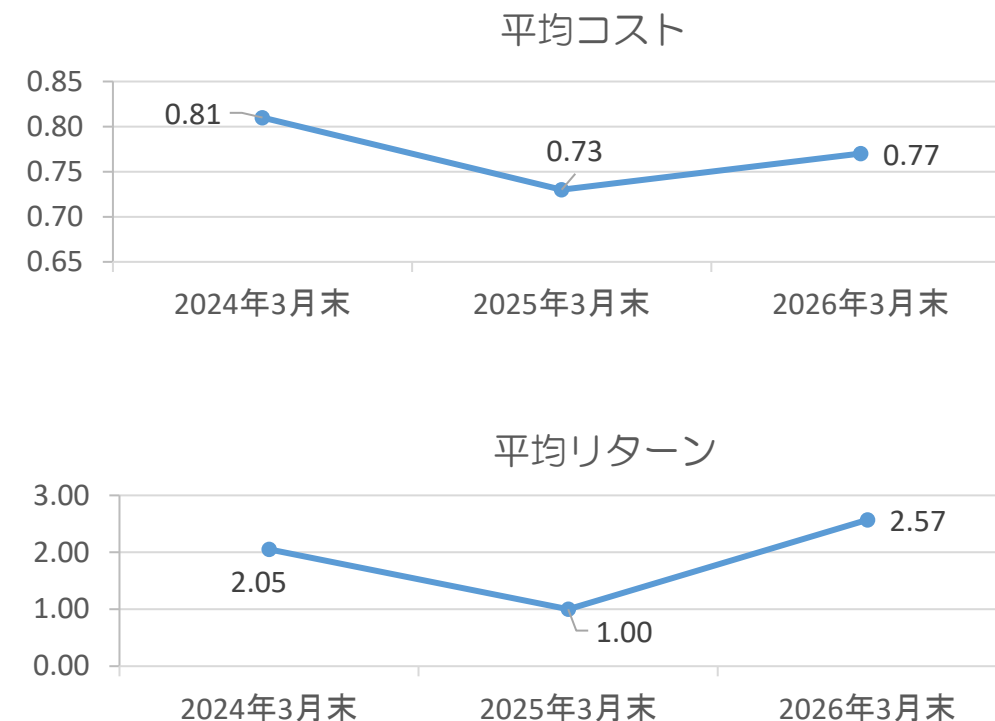
⑤ 外貨建保険の運用損益別お客さま比率

外貨建保険

	運用損益 マイナス	運用損益 プラス
2024年3月末	25.73%	74.27%
2025年3月末	42.29%	57.71%
2026年3月末	11.38%	88.62%

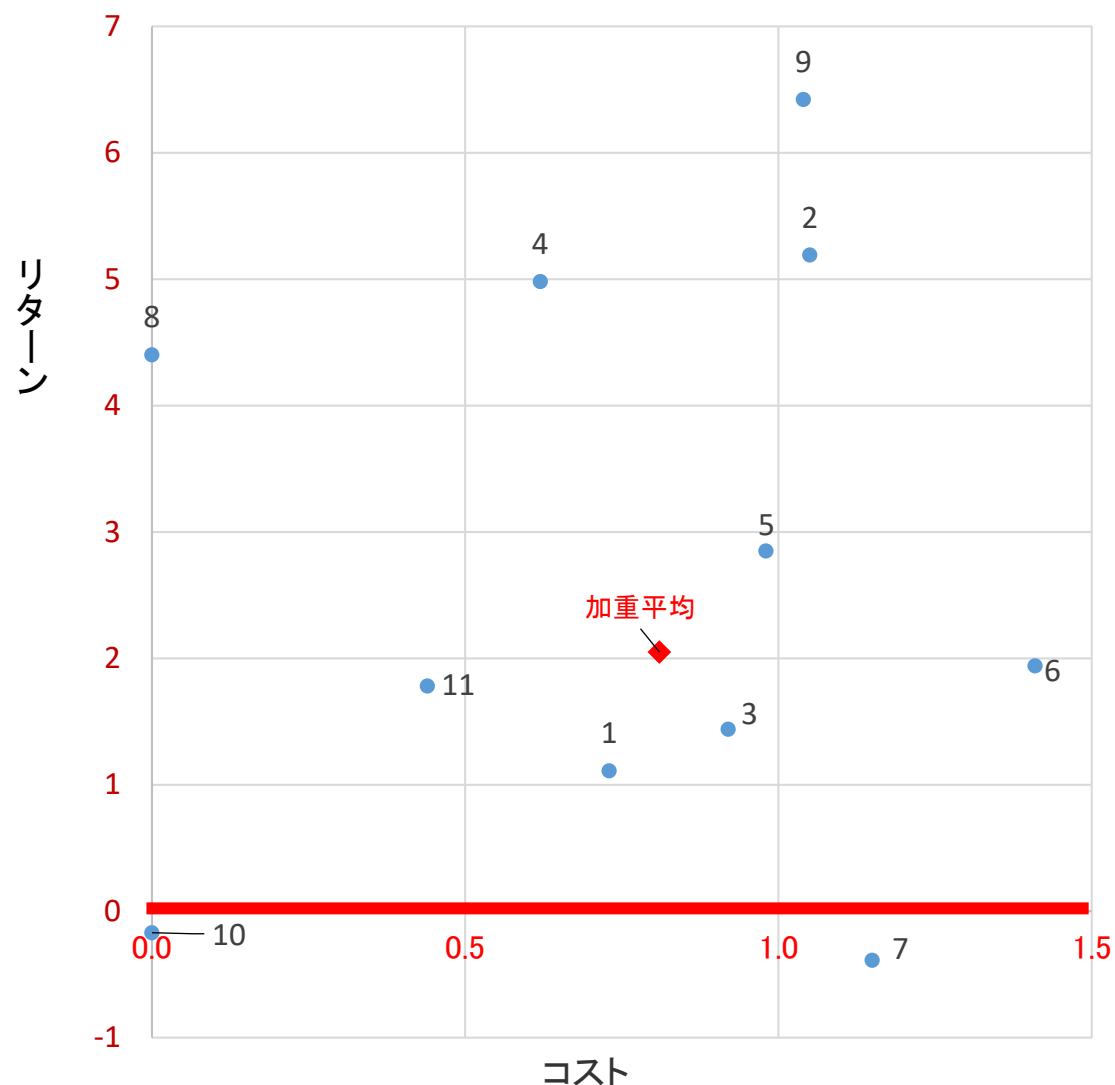


	平均コスト	平均リターン
2024年3月末	0.81%	2.05%
2025年3月末	0.73%	1.00%
2026年3月末	0.77%	2.57%



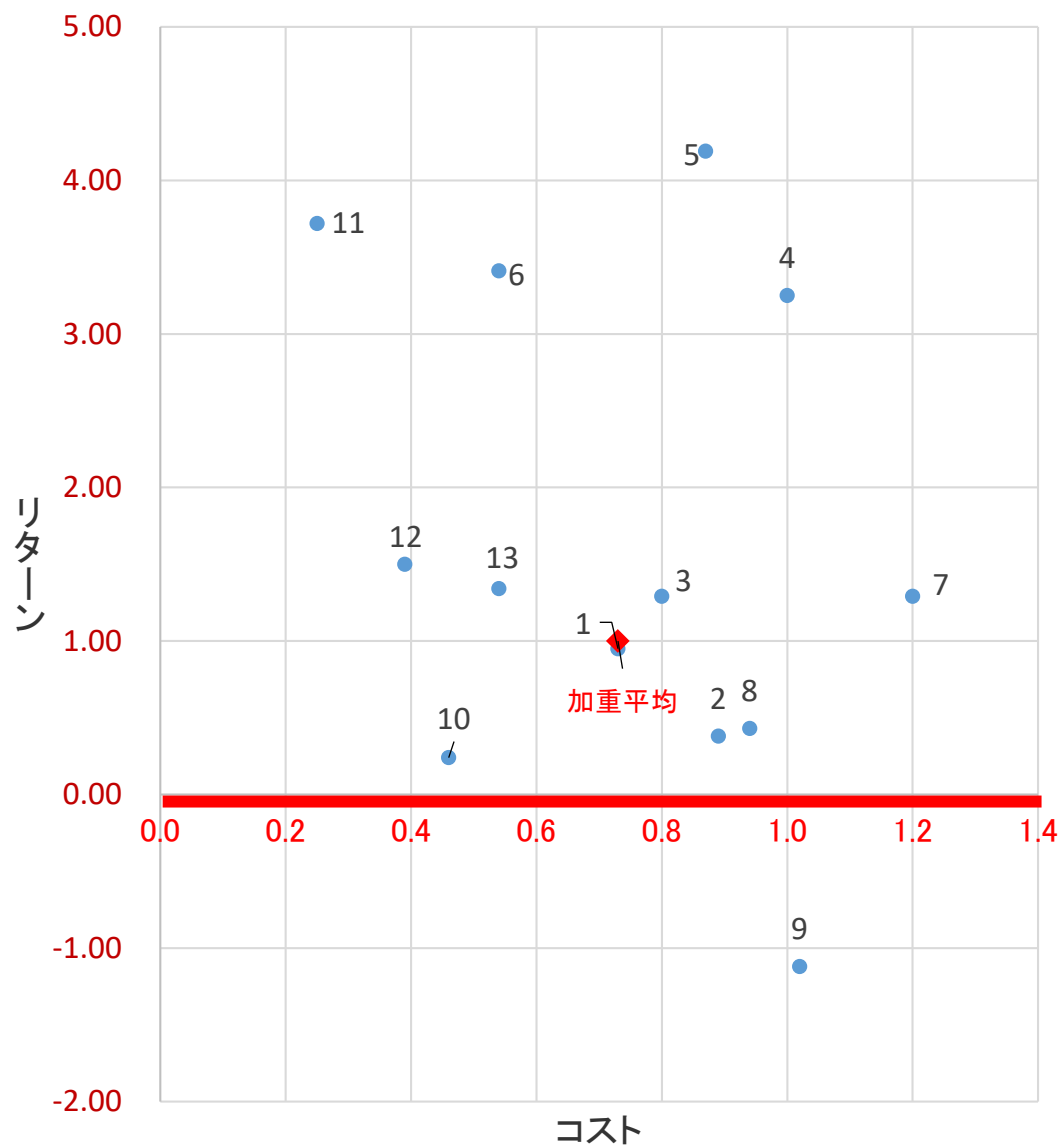
- 2026年3月末現在において、当行で外貨建保険を保有しているお客さまのうち、88.62%が運用損益プラス、11.38%が運用損益マイナスとなりました。(外貨建保険契約全先)
- 2026年3月末残高上位20銘柄の一時払保険料加重平均値のコストは0.77%、リターンは2.57%となりました。(契約後5年以上保有している外貨建保険契約先)

⑥-(1) 外貨建保険残高上位20銘柄のコスト・リターン(2024年3月末)



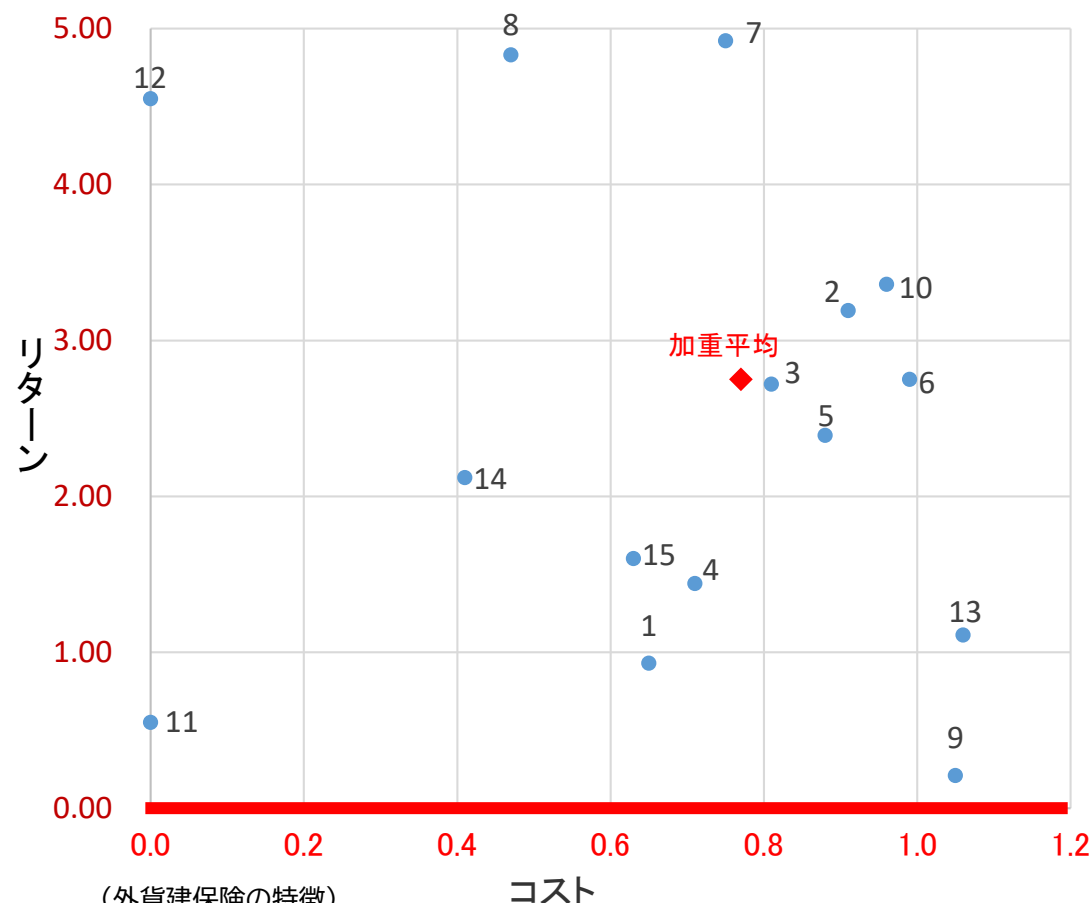
	銘柄名称	保険会社	コスト	リターン
1	ロングドリームGOLD	日本生命	0.73%	1.11%
2	ロングドリームGOLD2	日本生命	1.05%	5.19%
3	しあわせ、ずっと	三井住友海上プライマリー生命	0.92%	1.44%
4	夢のプレゼント	日本生命	0.62%	4.98%
5	ふるはーとJロードグローバル	住友生命	0.98%	2.85%
6	デュアルドリーム	日本生命	1.41%	1.94%
7	アップサイドプラス	アクサ生命	1.15%	-0.39%
8	スリースターズ ネオ	ジブラルタ生命	0.00%	4.40%
9	たのしみグローバル(指数)	住友生命	1.04%	6.42%
10	スリースターズ プラス W	ジブラルタ生命	0.00%	-0.17%
11	みらい、そだてる	三井住友海上プライマリー生命	0.44%	1.78%
12位以下 該当明細なし				

⑥-(2) 外貨建保険残高上位20銘柄のコスト・リターン(2025年3月末)



	銘柄名称	保険会社	コスト	リターン
1	ロングドリームGOLD	日本生命	0.73%	0.95%
2	ふるはーとJロードグローバル	住友生命	0.89%	0.38%
3	しあわせ、ずっと	三井住友海上プライマリー生命	0.80%	1.29%
4	ロングドリームGOLD3	日本生命	1.00%	3.25%
5	ロングドリームGOLD2	日本生命	0.87%	4.19%
6	夢のプレゼント	日本生命	0.54%	3.41%
7	デュアルドリーム	日本生命	1.20%	1.29%
8	たのしみグローバル(指数)	住友生命	0.94%	0.43%
9	アップサイドプラス	アクサ生命	1.02%	-1.12%
10	スリースターズ プラス W	ジブラルタ生命	0.46%	0.24%
11	スリースターズ ネオ	ジブラルタ生命	0.25%	3.72%
12	みらい、そだてる	三井住友海上プライマリー生命	0.39%	1.50%
13	アドバンテージ・セレクトPG	PGF生命	0.54%	1.34%
14位以下該当明細なし				

⑥-(3) 外貨建保険残高上位20銘柄のコスト・リターン(2026年3月末)



(外貨建保険の特徴)

- 外貨建保険は、保障と運用を兼ねており、満期や死亡の際には保険金が支払われます。解約時には解約返戻金が支払われますが、保険商品は長期保有を前提としており、特に、契約の早い段階に解約した場合に受け取る解約返戻金は、一定額の解約控除等により、一時払保険料を下回る場合があります。
- 解約基準日時点の為替レートで円貨換算しており、満期まで保有した場合や、外貨で受け取る場合の評価とは異なります。

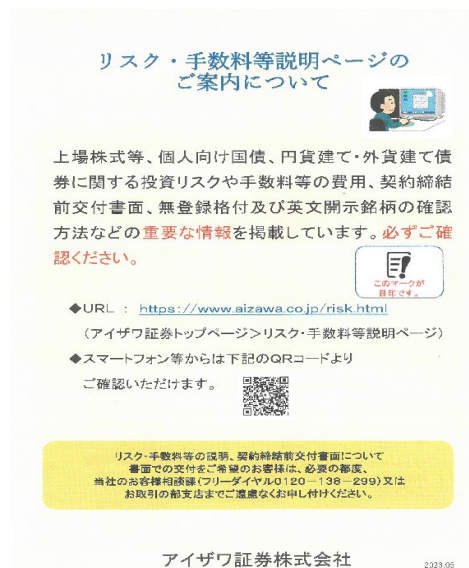
	銘柄名称	保険会社	コスト	リターン
1	ロングドリームGOLD	日本生命	0.65%	0.93%
2	ロングドリームGOLD3	日本生命	0.91%	3.19%
3	ふるはーとJロードグローバル	住友生命	0.81%	2.72%
4	しあわせ、ずっと	三井住友海上プライマリー生命	0.71%	1.44%
5	ふるはーとJロードグローバルⅡ	住友生命	0.88%	2.39%
6	しあわせ、ずっと2	三井住友海上プライマリー生命	0.99%	2.75%
7	ロングドリームGOLD2	日本生命	0.75%	4.92%
8	夢のプレゼント	日本生命	0.47%	4.83%
9	デュアルドリーム	日本生命	1.05%	1.21%
10	たのしみグローバル(指数)	住友生命	0.96%	3.36%
11	スリースターズ プラス W	ジブラルタ生命	0.00%	0.55%
12	スリースターズ ネオ	ジブラルタ生命	0.00%	4.55%
13	たのしみグローバルⅡ(指数)	住友生命	1.06%	1.11%
14	みらい、そだてる	三井住友海上プライマリー生命	0.41%	2.12%
15	アップサイドプラス	アクサ生命	0.63%	1.60%
16位以下該当明細なし				

2. お客様にとって分かりやすい情報の提供

① 手数料等の提示

- 当行では、お客さまへご提供する金融商品において、以下の項目をお客さまにお伝えすべき「重要な情報」と考えています。
～商品ごとの収益や損失等のリスク、手数料、商品のリスク特性等を考慮した販売を想定するお客さま属性、利益相反の可能性等～
- 対面での商品説明や商品比較を行う際には、『外貨建て商品での資産運用をご検討のお客さまへ』『重要情報シート』および『契約締結前交付書面』等を提示し、お客さまにご負担いただく費用について分かりやすく説明しています。

② お客様向けツール等(証券仲介・外貨建て運用)



2. お客様にとって分かりやすい情報の提供

③ 重要情報シートの活用

- 「重要情報シート」とは、お客様に対して商品の内容・リスク・手数料等の情報を簡潔に分かりやすく提供し、商品比較を容易にするための資料です。
- 当行の使用する「重要情報シート(個別商品編)」にはパッケージ化の無い旨等を明記しています。
- 重要情報シートにおいては、商品組成会社が想定する顧客属性も特定・公表しており、お客様の属性に合致した商品であることを明確にした上で、販売・推奨を行います。



重要情報シート (金融事業編)

1 当社の基本情報

当社の基本情報は、以下の通りです。

名称	アイザワ証券株式会社	当社の住所	〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
代表取締役	佐賀 隆夫	当社の電話番号	03-5561-1111
加入協会	日本証券業協会、日本損害保険協会、日本生命保険協会の各会	当社のウェブサイト	https://www.aizawa.co.jp/

2 取扱商品

当社の取扱商品は、以下の通りです。

債券 (国債・社債)	×	債券 (国債・社債)	×
国内株式	○	外国株式	○
円建て債券	○	外貨建て債券	○
外国債券	○	外国債券	○
外国債券	○	外国債券	○
外国債券	○	外国債券	○

3 商品ラインアップの考え方

当社は、お客様のニーズに合わせた商品ラインアップを提供しています。

4 高情・相談窓口

当社の高情・相談窓口は、以下の通りです。



重要情報シート (個別商品編)

1. 商品等の内容 (当行は、組成会社等の委託を要し、お客様に商品の販売の勧誘を行っています)

この商品は、三井住友海上プライマリー生命を引当保険会社とする生命保険です。預金とは異なり、また、元本割れすることがあります。

2. 商品等の内容 (当行は、組成会社等の委託を要し、お客様に商品の販売の勧誘を行っています)

この商品は、三井住友海上プライマリー生命を引当保険会社とする生命保険です。預金とは異なり、また、元本割れすることがあります。



重要情報シート (個別商品編)

3. 費用 (本商品の購入又は保有には、費用が発生します)

この商品は、三井住友海上プライマリー生命を引当保険会社とする生命保険です。預金とは異なり、また、元本割れすることがあります。

4. 費用 (本商品の購入又は保有には、費用が発生します)

この商品は、三井住友海上プライマリー生命を引当保険会社とする生命保険です。預金とは異なり、また、元本割れすることがあります。

2. お客さまにとって分かりやすい情報の提供

④ 高齢者のお客さまに対する募集

- 日本証券業協会が作成したガイドライン「高齢顧客に対する勧誘による販売について」に基づき、ご高齢のお客さまに対する募集については、より丁寧な意思確認等を行っています。

■ 当行における主な対応(2026年3月末現在)

- ①高齢者を75歳以上とし、80歳以上のお客さまをより慎重に対応する高齢者とする。
 - ②高齢者のお客さまへの勧誘・販売にあたっては、適合性の原則に基づき、慎重な対応が求められ、「勧誘可能な商品」と「勧誘留意商品」の範囲を選定するものとする。
 - ③リスク性商品(勧誘可能商品を含む)の販売は、提案前に内部管理責任者等が面談もしくは電話をし、金融商品に関する理解度についての確認を行うものとする。
 - ④80歳以上の高齢者のお客さまに「勧誘留意商品」の勧誘を行う場合(以下の対応を行っています)
 - ・原則、翌日以降の受注とする。
 - ・受注は販売担当者以外の内部管理責任者または役席者が行うものとする。
 - ・担当者以外が約定後に約定結果を連絡するものとする。
- 勧誘留意商品・・・下記「勧誘可能な商品」として定める商品以外の商品
「勧誘可能な商品」(※日本証券業協会ガイドライン参照)
- ①比較的変動が小さく、仕組が複雑でなく、換価性が高い商品
 - ・日本円建終身保険等
 - ②周知性の高い商品、時々刻々価格が変動する商品
 - ・日経225やTOPIXに連動する投資信託等

3.お客さま本位のコンサルティングの実践

① アフターフォローの実践状況

- 当行は、投資信託・特定保険契約のご高齢のお客様を中心に、半年に一回アフターフォローを行い、保有商品の運用状況や市況等について継続的な情報提供を行ってまいります。
- 金融商品・サービスの販売後は、一定の基準に基づき、保有商品の運用状況のご説明や、お客さまのご意向・ご状況の変化に応じたポートフォリオやライフプランの見直し提案などを行っています。
- 外貨建て一時払終身保険においては、低く設定された目標値を短期間で達成するとお客さまの費用負担が大きくなることから、目標達成前に目標値の変更が可能である旨を案内し、ご意向確認のためのアフターフォローに努めております。

アフターフォローの実施状況

実施状況 (件数)	2023年度		2024年度		2025年度	
	上期	下期	上期	下期	上期	下期
対象先	2,678	2,662	2,721	2,723	2,518	2,320
実施先	2,678	2,637	2,633	2,723	2,358	2,320
実施率	100%	99%	97%	100%	94%	100%

4. お客さま本位の営業活動に向けた態勢整備

①資格保有者

- 専門性の高いコンサルティング力を備え、お客さまのニーズに合った商品・サービスを分かりやすく提供できる人材の育成を目的にFPの資格取得を推奨しており、2026年3月末時点での取得者は190名(全行員の83.3%)となっております。併せて、一種外務員資格取得者は222名(全行員の97.3%)となっております。

資格取得状況(2026年3月末時点)

- 全行員(228名)を対象にFP(ファイナンシャルプランナー)資格取得を推奨しております。
- 全行員を対象に、一種外務員資格の取得を義務付けております。

FP資格取得状況(2026年3月末現在)

	FP1級	FP2級	FP3級
2025年3月末	1人	140人	56人
2026年3月末	1人	166人	23人

※FP2級取得者はFP3級取得者数に含んでおりません。

※第14次中期経営計画において、FP2級の取得者を2027年3月までに200人にすることを目標としております。

一種外務員資格取得状況(2026年3月末現在)

取得者数	222人
------	------

※一種外務員資格者は、株式、債券、投資信託のほか、信用取引・デリバティブ取引等、有価証券にかかる幅広い取引業務を行うことができます。

4. お客様本位の営業活動に向けた態勢整備

② お客様の最善の利益に適った商品提供の取組み

- 当行は、金融商品の組成に携わる組成会社ではないため、複雑またはリスクが高い金融商品等の特定商品について、組成会社と想定顧客属性の確認や販売状況等の情報を連携し、お客様の利益の実現のため、販売会社として主体的に商品の選定や見直し等ができる態勢の構築に努めます。
- 金融商品仲介業務において提携しているアイザワ証券ならびに商品を組成する保険会社と連携し、相互の取組状況を確認しながら、必要に応じて商品・サービスの選定や改善に取り組みます。